

今後取り組むべき課題(廃炉検討委員会)

廃炉検討委員会の活動の方向性

○広い分野の活用

- ・原子力学会の広い技術分野に対応した部会・連絡会の活用
- ・他学会との連携と融合した活動

○長期にわたる活動を視野に入れた体制づくり

- ・知見、活動の次世代への継承(人材育成)
- ・国際社会との連携による知見の収集と集約(情報基盤の整備)

○自由な場を提供

- ・自由な意見と発想
- ・廃炉の技術分野・原子力分野の活性化(魅力ある課題の設定)

若手の参画

廃炉検討委員会の活動を通じて

廃炉作業のリスクに関する理解の促進 ➡ 福島復興

- ・デブリ取り出しによる放射性物質の漏えいリスク
- ・汚染水の処理に関する検討

周辺環境の問題に直結